

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	安田女子大学
設置者名	学校法人 安田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数			省令で定める基準単位数	配置困難
			共通教育科目	専門教育科目	合計		
文学部	日本文学科	夜・通信		4	20	13	
	書道学科	夜・通信		4	20	13	
	英語英米文学科	夜・通信		4	20	13	
教育学部	児童教育学科	夜・通信		4	20	13	
心理学部	現代心理学科	夜・通信		4	20	13	
	ビジネス心理学科	夜・通信		2	18	13	
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	夜・通信		8	24	13	
	国際観光ビジネス学科	夜・通信	16	4	20	13	
	公共経営学科	夜・通信		6	22	13	
家政学部	生活デザイン学科	夜・通信		4	20	13	
	管理栄養学科	夜・通信		8	24	13	
	造形デザイン学科	夜・通信		2	18	13	
薬学部	薬学科	夜・通信		4	20	19	
看護学部	看護学科	夜・通信		9	25	13	
(備考)							

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公式ホームページでの公表

大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表

<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/>

<修学上の情報等>

・実務経験のある教員等による授業科目の一覧表【PDF】

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	安田女子大学
設置者名	学校法人 安田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公式ホームページでの公表 大学概要 > 情報公開 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/ <安田学園 情報の公開> ・安田学園 役員等名簿【PDF】
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	同窓会役員	2022.5.25～ 2024.5.24	卒業生との連携
非常勤	株式会社役員	2022.5.25～ 2024.5.24	外部情報の提供
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	安田女子大学
設置者名	学校法人 安田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)は、全学部共通のシステムを採用しており、作成方法・公表ともに各学部において同様の取扱いをしている。</p> <p>■授業計画書(シラバス)の作成過程、作成・公表時期</p> <p>①シラバス作成(1月下旬～2月中旬) シラバス作成要領に基づき、各教員がシラバスを作成する。</p> <p>②シラバス確認・修正(2月下旬～3月下旬) 各教員により作成されたシラバスは、役職者(学科長、教務センター次長)が確認を行い、必要であれば記載内容の改善等を担当教員に要望している。</p> <p>③シラバス公表(3月下旬頃) 上記作成と確認を経て、WEBでシラバスを公表している。</p> <p>■授業計画書(シラバス)の公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスでは、授業科目の「概要」「目標」「授業内容」「授業外学習へのアドバイス」「評価の方法」「教員の実務経験と授業との関連性」「学位授与方針との関連性」等を示して授業の体系や構成を明らかにし、学修の支援をするものとしてWEBで公表している。 ・WEBシラバスは講義コードや講義名称のほか、開講学科や授業担当者、キーワードでの検索が可能であり、利用者視点での閲覧環境が整備されている。 ・『履修の手引』(刊行物)を入学時に学生に配付し、公式ホームページでも公表している。 ・『履修の手引』にはシラバスの目的や活用方法を掲載し、学生の主体的な学びを支援している。

授業計画書の公表方法	<p>公式ホームページでの公表</p> <p>■ 「授業計画書（シラバス）」 大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/</p> <p><修学上の情報等> ・授業科目、授業の方法及び内容（シラバス） https://manabi.yasuda-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</p> <p>■ 『履修の手引』 大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/</p> <p><修学上の情報等> ・『履修の手引』【PDF】</p> <p>刊行物として配付</p> <p>■ 『履修の手引』（入学時に配付）</p>
------------	--

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業科目の学修成果の評価に係る取組について、各学部とも同様の取扱いをしている。

- 大学及び各学部・学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、卒業時に身に付けておくべき知識・技術・態度の達成度を評価している。
また、各授業科目の担当教員は、あらかじめシラバスに明示された成績評価方法によって学修成果の評価及び単位認定を厳格・適正に実施している。

「ディプロマ・ポリシー」「カリキュラム・ポリシー」URL
大学概要 > 3つのポリシー・アセスメント・ポリシー
<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/policies/>

「授業計画書（シラバス）」URL
大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表
<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/>

< 修学上の情報等 >

- ・授業科目、授業の方法及び内容（シラバス）

https://manabi.yasuda-u.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx

- 『履修の手引』に「単位修得の要件」や「試験実施要綱」を記載し、単位認定の基準を明示している。

『履修の手引』URL
大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表
<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/>

< 修学上の情報等 >

- ・『履修の手引』【PDF】

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価の客観的指標として全学的にGPAを設定しており、各学部において同様の取扱いをしている。

■GPAの対象科目、計算期間及び計算方法については『履修の手引』に記載しておりWEBでも公表している。

<GPA 計算方法>

- ①対象学期の受講科目の単位合計数を成績評価ごとに数え、計算対象科目の単位数合計を算出する
- ②成績評価の単位数にグレードポイント(秀4点、優3点、良2点、可1点、不可・欠席・抹消0点)をかけて合計点を算出する
- ③合計点②を単位数合計①で割り、小数点第3位を切り上げる

<GPA 計算期間・対象外科目>

- ・GPAは学期ごとに算出するほか、累計GPAも算出している
- ・特別科目や他大学における単位互換科目等一部の科目は、計算対象外としている

■学生は、GPAの記載された成績通知書や学内システム(WEB)を通して、自らの学業成績の状況を明確で客観的な総合的成績評価として確認し、自分自身の学修成果を把握することができる。

また、GPA値は、各種実習参加要件や履修上限単位数の基準にも用いる。

■成績の分布状況は、年度終了後、学科学年別の状況(添付資料参照)を学科長に提供する。教務センター長は成績分布に偏り等が見られる場合は、該当学科の学科長に対し改善の助言を行う。学科長は学科内で情報を共有し、成績不良者に対し個別指導・注意喚起を行う。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

公式ホームページでの公表

■『履修の手引』

大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表

<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/>

<修学上の情報等>

- ・『履修の手引』【PDF】

刊行物として配付

■『履修の手引』(入学時に配付)

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定方針の策定、実施等においては、各学部とも同様の取扱いをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「ディプロマ・ポリシー」の「養成する人材像」「教育目標」に示した能力・態度を身に付けて、各学部・学科の教育課程に定められた所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定し、学士の学位を授与する。 ■ 卒業要件は、大学設置基準をもとに免許等の取得に係る必要単位を加味して、学科別に定めている。また、全学的に人格育成のための科目として位置づける特別科目の「まほろば教養ゼミ」4単位と、教養科目や語学や情報処理科目等の共通教育科目 32単位、専門教育科目 92単位(薬学部薬学科は 161単位)を卒業要件として定めている。 『履修の手引』に、各学科の卒業要件と教育課程表(必要科目及び単位数の詳細)を記載しており、入学時に学生に刊行物を配付し、公式ホームページでも公表している。 ■ 卒業判定は、在学期間を充足する学期末に卒業要件充足単位数を確認し、各学部教授会の意見を聴いて学長が認定する手順となっている。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>公式ホームページでの公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「ディプロマ・ポリシー」 大学概要 > 3つのポリシー・アセスメント・ポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/policies/ ■ 『履修の手引』 大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/ <p>< 修学上の情報等 > ・『履修の手引』【PDF】</p> <p>刊行物として配付</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 『履修の手引』(入学時に配付)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	安田女子大学
設置者名	学校法人 安田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学概要 > 情報公開 安田学園財務状況及び事業報告書 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/
収支計算書又は損益計算書	大学概要 > 情報公開 安田学園財務状況及び事業報告書 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/
財産目録	大学概要 > 情報公開 安田学園財務状況及び事業報告書 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/
事業報告書	大学概要 > 情報公開 安田学園財務状況及び事業報告書 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/
監事による監査報告(書)	大学概要 > 情報公開 安田学園財務状況及び事業報告書 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 公式ホームページでの公表 大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学に対する大学機関別認証評価結果(平成28年度) https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/page/24_5.html
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文学部/教育学部/心理学部/現代ビジネス学部/家政学部/薬学部/看護学部
教育研究上の目的（公表方法：公式ホームページでの公表） 大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/ <教育研究上の基礎的な情報> ・安田女子大学の学部・学科の目的【PDF】
（概要） 安田女子大学学則第 1 条にて、大学の目的を「女子に広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を養い、もって文化の向上に寄与する人格円満な女子を育成すること」と定めている。また安田女子大学学則第 2 条第 2 項にて、学部及び学科ごとの目的に関し必要な事項は、別に定めるとし、「安田女子大学各学部・学科の目的に関する内規」にて各学部及び学科の目的につき定めている。
卒業の認定に関する方針（公表方法：公式ホームページでの公表） 大学概要 > 3つのポリシー・アセスメント・ポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/policies/ ■安田女子大学の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/policies/ ■文学部 日本文学科の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/course/bungaku/basic/policies/ ■文学部 書道学科の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/course/shodou/basic/policies/ ■文学部 英語英米文学科の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/course/english/basic/policies/ ■教育学部 児童教育学科の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/course/jidou/basic/policies/ ■心理学部 現代心理学科の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/course/shinri/basic/policies/ ■心理学部 ビジネス心理学科の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/course/social/basic/policies/ ■現代ビジネス学部 現代ビジネス学科の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/course/business/basic/policies/ ■現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/course/s-international/basic/policies/ ■現代ビジネス学部 公共経営学科の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/course/public/basic/policies/ ■家政学部 生活デザイン学科の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/course/life/basic/policies/ ■家政学部 管理栄養学科の 3 つのポリシー https://www.yasuda-u.ac.jp/course/dietetics/basic/policies/ ■家政学部 造形デザイン学科の 3 つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/zoukei/basic/policies/>

■薬学部 薬学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/pharmacy/basic/policies/>

■看護学部 看護学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/nursing/basic/policies/>

(概要)

本学園の創設者安田リヨウの建学の精神「柔しく剛く」（やさしくつよく）を具現化するために、諸学の知識を広く深く教授研究し、自尊の人格、豊かな教養、思いやりの心を持つ真に自立した女性を育成し、有為な人材として社会に送り出すことを目的として、学生の知的、道徳的及び応用的能力の育成・展開を図ってきた。

本学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者の受入れの方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシーと、学修成果の評価に関する方針（アセスメント・ポリシー）を定めて展開し、本学の教育の一層の充実を進めるものとする。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：公式ホームページでの公表）

大学概要 > 3つのポリシー・アセスメント・ポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/policies/>

■安田女子大学の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/policies/>

■文学部 日本文学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/bungaku/basic/policies/>

■文学部 書道学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/shodou/basic/policies/>

■文学部 英語英米文学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/english/basic/policies/>

■教育学部 児童教育学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/jidou/basic/policies/>

■心理学部 現代心理学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/shinri/basic/policies/>

■心理学部 ビジネス心理学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/social/basic/policies/>

■現代ビジネス学部 現代ビジネス学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/business/basic/policies/>

■現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/s-international/basic/policies/>

■現代ビジネス学部 公共経営学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/public/basic/policies/>

■家政学部 生活デザイン学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/life/basic/policies/>

■家政学部 管理栄養学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/dietetics/basic/policies/>

■家政学部 造形デザイン学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/zoukei/basic/policies/>

■薬学部 薬学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/pharmacy/basic/policies/>

■看護学部 看護学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/nursing/basic/policies/>

(概要)

本学園の創設者安田リヨウの建学の精神「柔しく剛く」（やさしくつよく）を具現化するために、諸学の知識を広く深く教授研究し、自尊の人格、豊かな教養、思いやりの心を持つ

真に自立した女性を育成し、有為な人材として社会に送り出すことを目的として、学生の知的、道徳的及び応用的能力の育成・展開を図ってきた。

本学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者の受入れの方針（アドミッション・ポリシー）の3つのポリシーと、学修成果の評価に関する方針（アセスメント・ポリシー）を定めて展開し、本学の教育の一層の充実を進めるものとする。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：公式ホームページでの公表）

大学概要 > 3つのポリシー・アセスメント・ポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/policies/>

■安田女子大学の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/policies/>

■文学部 日本文学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/bungaku/basic/policies/>

■文学部 書道学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/shodou/basic/policies/>

■文学部 英語英米文学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/english/basic/policies/>

■教育学部 児童教育学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/jidou/basic/policies/>

■心理学部 現代心理学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/shinri/basic/policies/>

■心理学部 ビジネス心理学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/social/basic/policies/>

■現代ビジネス学部 現代ビジネス学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/business/basic/policies/>

■現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/s-international/basic/policies/>

■現代ビジネス学部 公共経営学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/public/basic/policies/>

■家政学部 生活デザイン学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/life/basic/policies/>

■家政学部 管理栄養学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/dietetics/basic/policies/>

■家政学部 造形デザイン学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/zoukei/basic/policies/>

■薬学部 薬学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/pharmacy/basic/policies/>

■看護学部 看護学科の3つのポリシー

<https://www.yasuda-u.ac.jp/course/nursing/basic/policies/>

(概要)

本学園の創設者安田リヨウの建学の精神「柔しく剛く」（やさしくつよく）を具現化するために、諸学の知識を広く深く教授研究し、自尊の人格、豊かな教養、思いやりの心を持つ真に自立した女性を育成し、有為な人材として社会に送り出すことを目的として、学生の知的、道徳的及び応用的能力の育成・展開を図ってきた。

本学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）及び入学者の受入れの方針（アドミッションポリシー）の3つのポリシーと、学修成果の評価に関する方針（アセスメントポリシー）を定めて展開し、本学の教育の一層の充実を進めるものとする。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：公表方法：公式ホームページでの公表
 大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表
<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/>

<教育研究上の基礎的な情報>
 ・組織図(<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/organization/>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
文学部	—	19人	9人	1人	1人	0人	30人
教育学部	—	8人	7人	1人	0人	0人	16人
心理学部	—	10人	6人	5人	1人	0人	22人
現代ビジネス学部	—	17人	9人	4人	0人	0人	30人
家政学部	—	14人	15人	4人	3人	8人	44人
薬学部	—	18人	6人	6人	5人	1人	36人
看護学部	—	12人	6人	9人	9人	8人	44人
その他	—						
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		192人					192人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：公式ホームページでの公表 大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/ <修学上の情報等> ・教員業績(http://rss.yasuda-u.ac.jp/kgr/)					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	230人	176人	76.5%	928人	793人	85.5%	4人	0人
教育学部	150人	147人	98%	606人	556人	91.7%	3人	0人
心理学部	150人	117人	78%	544人	560人	102.9%	2人	2人
現代ビジネス学部	240人	216人	90%	966人	901人	93.3%	3人	0人
家政学部	355人	356人	100.3%	1374人	1378人	100.3%	2人	1人
薬学部	100人	89人	89%	648人	589人	90.9%	4人	0人
看護学部	120人	131人	109.2%	480人	515人	107.3%	-人	-人
合計	1345人	1232人	91.6%	5546人	5292人	95.4%	18人	3人

(備考)

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	254人 (100%)	10人 (4%)	212人 (83.5%)	32人 (12.6%)
教育学部	152人 (100%)	5人 (2%)	147人 (96.7%)	2人 (1.3%)
心理学部	110人 (100%)	14人 (9.1%)	95人 (86.4%)	5人 (4.5%)
現代ビジネス学部	212人 (100%)	0人 (0%)	204人 (96.2%)	8人 (3.8%)
家政学部	303人 (100%)	3人 (1%)	284人 (93.7%)	16人 (5.3%)
薬学部	86人 (100%)	2人 (2.3%)	61人 (70.9%)	23人 (26.7%)
看護学部	111人 (100%)	1人 (1%)	109人 (98.2%)	1人 (1%)
合計	1228人 (100%)	29人 (2.4%)	1112人 (90.6%)	87人 (7.1%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】より再掲

授業計画書(シラバス)は、全学部共通のシステムを採用しており、作成方法・公表ともに各学部において同様の取扱いをしている。

■授業計画書(シラバス)の作成過程、作成・公表時期

①シラバス作成(1月下旬～2月中旬)

シラバス作成要領に基づき、各教員がシラバスを作成する。

②シラバス確認・修正(2月下旬～3月下旬)

各教員により作成されたシラバスは、役職者(学科長、教務センター次長)が確認を行い、必要であれば記載内容の改善等を担当教員に要望している。

③シラバス公表(3月下旬頃)

上記作成と確認を経て、WEBでシラバスを公表している。

■授業計画書(シラバス)の公表方法

- ・シラバスでは、授業科目の「概要」「目標」「授業内容」「授業外学習へのアドバイス」「評価の方法」「教員の実務経験と授業との関連性」「学位授与方針との関連性」等を示して授業の体系や構成を明らかにし、学修の支援をするものとしてWEBで公表している。
- ・WEBシラバスは講義コードや講義名称のほか、開講学科や授業担当者、キーワードでの検索が可能であり、利用者視点での閲覧環境が整備されている。
- ・『履修の手引』(刊行物)を入学時に学生に配付し、公式ホームページでも公表している。
- ・『履修の手引』にはシラバスの目的や活用方法を掲載し、学生の主体的な学びを支援している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】より再掲

■大学及び各学部・学科の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)に基づき、卒業時に身に付けておくべき知識・技術・態度の達成度を評価している。

また、各授業科目の担当教員は、あらかじめシラバスに明示された成績評価方法によって学修成果の評価及び単位認定を厳格・適正に実施している。

■GPAの対象科目、計算期間及び計算方法については『履修の手引』に記載しておりWEBでも公表している。

<GPA計算方法>

- ①対象学期の受講科目の単位合計数を成績評価ごとに数え、計算対象科目の単位数合計を算出する
- ②成績評価の単位数にグレードポイント(秀4点、優3点、良2点、可1点、不可・欠席・抹消0点)をかけて合計点を算出する
- ③合計点②を単位数合計①で割り、小数点第3位を切り上げる

<GPA計算期間・対象外科目>

- ・GPAは学期ごとに算出するほか、累計GPAも算出している
- ・特別科目や他大学における単位互換科目等一部の科目は、計算対象外としている

- 学生は、GPA の記載された成績通知書や学内システム (WEB) を通して、自らの学業成績の状況を明確で客観的な総合的成績評価として確認し、自分自身の学修成果を把握することができる。
また、GPA 値は、各種実習参加要件や履修上限単位数の基準にも用いる。
- 成績の分布状況は、年度終了後、学科学年別の状況 (添付資料参照) を学科長に提供する。教務センター長は成績分布に偏り等が見られる場合は、該当学科の学科長に対し改善の助言を行う。学科長は学科内で情報を共有し、成績不良者に対し個別指導・注意喚起を行う。
- 「ディプロマ・ポリシー」の「養成する人材像」「教育目標」に示した能力・態度を身に付けて、各学部・学科の教育課程に定められた所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定し、学士の学位を授与する。
- 卒業要件は、大学設置基準をもとに免許等の取得に係る必要単位を加味して、学科別に定めている。また、全学的に人格育成のための科目として位置づける特別科目の「まほろば教養ゼミ」4 単位と、教養科目や語学や情報処理科目等の共通教育科目 32 単位、専門教育科目 92 単位 (薬学部薬学科は 161 単位) を卒業要件として定めている。
『履修の手引』に、各学科の卒業要件と教育課程表 (必要科目及び単位数の詳細) を記載しており、入学時に学生に刊行物を配付し、公式ホームページでも公表している。
- 卒業判定は、在学期間を充足する学期末に卒業要件充足単位数を確認し、各学部教授会の意見を聴いて学長が認定する手順となっている。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部	日本文学科	128 単位	有・無	単位
	書道学科	128 単位	有・無	単位
	英語英米文学科	128 単位	有・無	単位
教育学部	児童教育学科	128 単位	有・無	単位
心理学部	現代心理学科	128 単位	有・無	単位
	ビジネス心理学科	128 単位	有・無	単位
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	128 単位	有・無	単位
	国際観光ビジネス学科	128 単位	有・無	単位
	公共経営学科	128 単位	有・無	単位
家政学部	生活デザイン学科	128 単位	有・無	単位
	管理栄養学科	128 単位	有・無	単位
	造形デザイン学科	128 単位	有・無	単位
薬学部	薬学科	197 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	128 単位	有・無	単位
GPA の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法：公式ホームページでの公表

大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表

<https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/>

<教育研究上の基礎的な情報>

・キャンパスマップ(校地・校舎等の概要) (<https://www.yasuda-u.ac.jp/career/campus/>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	入学年度	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
文学部	日本文学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	900,000	229,000	
		2020年度		880,000	239,000	
	書道学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	900,000	229,000	
		2020年度		880,000	239,000	
	英語英米文学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	1,020,000	229,000	
		2020年度		1,000,000	239,000	
教育学部	児童教育学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	900,000	229,000	
		2020年度		880,000	239,000	
心理学部	現代心理学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	900,000	229,000	
		2020年度		880,000	239,000	
	ビジネス心理学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	900,000	229,000	
		2020年度		880,000	239,000	
現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	900,000	229,000	
		2020年度		880,000	239,000	
	国際観光ビジネス学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	1,020,000	229,000	
		2020年度		1,000,000	239,000	
家政学部	生活デザイン学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	940,000	229,000	
		2020年度		920,000	239,000	
	管理栄養学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	1,040,000	229,000	
2020年度		1,020,000		239,000		
薬学部	薬学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	1,640,000	229,000	
		2020年度・2019年度・2018年度		1,620,000	239,000	
	看護学部	看護学科	2023年度・2022年度・2021年度	90,000	1,390,000	229,000
2020年度			1,370,000		239,000	

※実験実習費、学内演習費は授業料に含まれます。

※本学仕様のノートパソコンを入学時に全学生に配付します。

※上記に定める授業料等諸納付金以外に、教育実習・学外実習・調理実習等のある学科では、それらに関する諸経費を別途徴収します。

※文学部英語英米文学科のアメリカ・カナダ派遣6ヵ月留学(STAYS)および現代ビジネス学部国際観光ビジネス学科の国際観光ハワイプログラム(HIBISCUS program)半年にかかる現地授業料、渡航費は授業料に含まれます。ホームステイ費用(宿泊代、食事代等、約40万円を予定)は別途徴収します。

※薬学部では、5年次の病院・薬局実務実習の際に実習費(65万円程度)を別途徴収します。薬学部では薬学部特待生制度・薬学部奨学金制度を設けています。

※看護学部では、臨地実習の際に実習費(4年間で計20万円程度)を別途徴収します(保健師および助産師養成課程を履修する場合は別途追加徴収します)。

●在学学生向け授業料等諸納付金

公式ホームページにて公表：

学生生活・進路 > 授業料・奨学金

<https://www.yasuda-u.ac.jp/career/tuition/>

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p><学習支援センター></p> <p>学生の「学びたい」という気持ちに応える場所として設置された学習支援センターは、学修全般にわたり組織的に学生を支援している。具体的には、「授業についていけない」「勉強の方法が分からない」等、学修全般に関する相談を受け、個人指導やアドバイスを行う支援体制を整えている。その他、ラーニングコモنزの運営、硬筆書写講座、各種課外講座、英語カフェの運営、ボランティア活動の紹介等を行っている。</p> <p>学生生活・進路 > 大学生活のサポート https://www.yasuda-u.ac.jp/career/support/</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p><チューター制度></p> <p>本学ではクラス単位でチューターを配置している。原則入学から卒業まで同じ教員が担当し、学生の履修指導からメンタルサポートまで幅広く相談に応じている。就職についても、各クラスのチューターは、キャリア支援課の専任スタッフと連携し、学生の希望を尊重した上で、個人の適性を踏まえたアドバイスを行っている。さらにキャリアセンター長、各学科の教員、キャリア支援課課長等で構成される就職指導委員会では、就職指導及び支援を行っている。</p> <p><キャリア支援課></p> <p>キャリア支援課では専任スタッフを配置し、就職活動の進め方、面接、対策等についてアドバイスを受けられる機会を設け、スムーズに就職活動に取り組める環境を整えている。また、キャリア支援課は学科担当制を設け、各学科の特性や職業支援の専門性の高い職員が継続的に支援を行っている。</p> <p>学生生活・進路 > 大学生活のサポート https://www.yasuda-u.ac.jp/career/support/</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p><保健センター></p> <p>学生の心身の健康管理を目的として保健センターを設置し、定期健康診断・応急処置・健康相談・健康教育・生活相談を行っている。その施設は、保健室、休養室、学生休憩室が併設されている。保健室は、保健担当者（看護師）により適切な手当や応急処置を行う（投薬等の治療は行わない）ほか、症状や傷害の状況に応じて最寄りの病院の紹介や受診の手配を行う。休養室は体調不良時の休養場所として、学生休憩室は1人でゆっくり休んだり、気持ちを落ち着けたりする場所として機能している。また、学生相談室を置き、学業・就職・友人関係・家族関係等の悩みに対して気軽に相談できる環境を整えている。希望により、臨床心理士資格を持つ教員と専門のカウンセラーによるカウンセリングも受けることができる。</p> <p>学生生活・進路 > 大学生活のサポート https://www.yasuda-u.ac.jp/career/support/</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：公式ホームページでの公表</p> <p>大学概要 > 情報公開 > 安田女子大学 教育情報の公表 https://www.yasuda-u.ac.jp/outline/report/college/</p>
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F134310109900
学校名	安田女子大学
設置者名	学校法人 安田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		520人	536人	536人
内 訳	第Ⅰ区分	252人	263人	
	第Ⅱ区分	154人	138人	
	第Ⅲ区分	85人	67人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				543人
(備考) 支援対象者のうち「停止」区分対象者（前期29人、後期68人）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	-		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	19人		
計	22人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)		
年間	-	前半期		後半期

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	-
訓告	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	39人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	39人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。